

対策メニュー		実施内容	実施機関	2018年度(H30)末時点 進捗状況		2019年度(H31)以降 実施予定
				進捗率評価	進捗状況	
水位低下対策	1	河川改修	静岡県(河川)	△	・河川整備基本方針の策定・公表 ・河川整備計画の策定に向けた検討を実施 ・県河川審議会で治水計画を審議	・河川整備基本方針の策定に向けて県河川審議会で審議 ・河川整備基本方針の策定・公表
			焼津市	△	・五ヶ堰之内地区において堤防高上げ等を実施	→継続実施
			藤枝市	○	・現地調査を行い、必要に応じて浸水常態箇所において局所的な河川改修の実施を検討	→継続実施
	2	下水道(雨水幹線)の整備	焼津市	—	・2018年度(H28)までに流域内の雨水幹線の整備完了	・中・長期的に年超過確率概ね1/7の降雨規模の流下能力を確保
			藤枝市	○	・策定した雨水管理総合計画及び全体計画に基づき、下水道事業による雨水幹線の整備を検討 ・流域内の水路整備及びフラップゲート設定について検討	・必要に応じて水路整備を実施
	3	農業取水堰の改良・統廃合	土地改良区 静岡県(農林)	◎	・第7号水門の撤去に向けた関係機関による協議を実施 ・撤去工事の測量設計及び事業計画作成を業務委託	・事業計画書を作成し、国庫補助事業の採択申請を行う ・撤去工事にかかる関係機関及び地元との協議 ・事業採択された場合、撤去工事に着手
			焼津市	△	・第7号水門からの取水機能の代替措置等に関する調査・検討を実施 ・第7号水門の撤去に向けた関係機関による協議や地元住民との調整を実施	→継続実施
			藤枝市	—	—	—
	4	排水系統(排水先)の見直し	焼津市	○	・JR橋梁付近:上流部で雨水を分流する排水路の整備を実施 豊田地区:雨水を分流する排水路及び逆流防止施設(フラップゲート:小型N=1基)の整備を実施	・JR橋梁付近:対策の効果を検証し、追加対策の必要性等を検討 豊田地区:逆流防止施設(フラップゲート:大型N=1基)の整備を実施
			藤枝市	△	・現況排水路の排水系統を調査し、流下能力評価を実施 ・流下能力不足の排水路の改修に向けた排水先との調整を実施	・排水能力不足水路のバイパス水路を整備し、排水の分水を実施
5	河川の適切な維持管理	静岡県(河川)	○	・河川巡視を年1回実施 ・河川巡視の結果等を踏まえ、必要に応じて浸草や除草等を実施 ・リバーフレンドシップ制度の周知と登録を推進	→継続実施	
		焼津市	○	・河川巡視を年1回実施 ・河川巡視の結果等を踏まえ、必要に応じて浸草や樹木伐採等を実施 ・地域住民が年2回、側溝・河川清掃を実施 ・リバーフレンドシップ制度の登録を推進	→継続実施	
		藤枝市	○	・河川巡視を年8回実施 ・河川巡視の結果等を踏まえ、必要に応じて浸草や除草等を実施 ・地域住民が年1回、側溝・河川清掃を実施	→継続実施	
流出抑制対策	6	雨水貯留浸透施設の設置	静岡県(河川)	△	・県管理施設へ雨水貯留浸透施設の整備が可能か検討を実施 ・整備可能な県管理施設における整備に向けて関係機関との調整を実施	・整備可能な県管理施設における整備に向けて貯留量等を検討し、整備計画を立案
			焼津市	○	・市管理施設への雨水貯留浸透施設の整備について、関係かと調整を実施 ・整備可能な場合、整備に向けて関係機関との調整を実施	→継続実施
			藤枝市	○	・策定した雨水管理総合計画及び全体計画に基づき、下水道事業による雨水幹線の整備を検討 ・雨水貯留浸透施設の整備可能な箇所について検討	→継続実施
	7	透水性舗装の整備	静岡県(河川)	△	・歩道などの度の整備の際には積極的に透水性舗装を採用	→継続実施
			焼津市	○	・歩道などの度の整備の際には積極的に透水性舗装を採用	→継続実施
			藤枝市	△	・歩道などの度の整備の際には積極的に透水性舗装を採用	→継続実施
	8	各戸での流出抑制施設設置の推進	焼津市	○	・各戸での流出抑制施設設置を促進	→継続実施
			藤枝市	○	・各戸での流出抑制施設設置を啓発 ・宅地分譲開発において雨水貯留浸透槽を設置(3件、24区画)	・平成32年度から雨水貯留浸透施設設置補助金制度創設に向けた浸透地帯の選定等の検討 ・各戸での流出抑制施設設置を推進
	9	農地の保水機能の保全	流域住民	—	・各戸での雨水貯留タンクや浸透槽等の流出抑制施設設置を推進	→継続実施
			焼津市	○	・農業者へ農地保全に関する協力を依頼	→継続実施
10	防災調整池などの有効利用	焼津市	○	・防災調整池等の管理者への適正な指導に努める	→継続実施	
		藤枝市	○	・防災調整池等の管理者への適正な指導に努める	→継続実施	